

タイトル「オアゾ」は創刊するにあたり、職員より募集し、数ある作品の中から決定しました。エスペラント語（世界共通語）で「オアシス」の意味です。

平成30年度医療・介護報酬改定における影響



事務長
津村 貴祥

平素は当法人の運営に関し、格別のお引き立てを頂き誠にありがとうございます。水城病院は昨年、開設60周年を迎えまして、気持ちも新たに全職員で新しい歴史を刻むべく日々努力しているところで

さて、今春は6年に一度の医療・介護報酬同時改定（W改定）が行われました。各医療機関等は自己の方針に基づいて、その対応を行っていかわけですが、この場をお借りして当院の対応（方向性）をご説明したいと思っております。

団塊の世代が75歳以上となる2025年には65歳以上の高齢者率は約30%に達し、年間死者数が150万人を超す「超高齢化社会」「多死社会」が到来します。それに備え国は高齢者が住み慣れた地域・自宅で最後まで暮らせるよう、医療・介護の連携強化を促進させるべくW改定に臨んでいます。

今回の改定では新しく「介護医療院」が創設されました。介護医療院は2024年3月に廃止が決定されている「介護療養病床」の転換先として創設された介護保険施設です。当院は現在医療保険適用の「医療療養病床」を3病棟112床、介護保険適用の「介護療養病床」を4病棟224床保有しており、後者がその対象となります。介護医療院はプライバシーに配慮した療養環境を整え、住まいとしての生活施設であると同時に医療を提供する施設です。医療・介護を一体的に提供し、リハビリや医療的なケア、長期療養と終末期の看取りにも対応すること

から、他の介護保険施設に比べ、医療必要度、介護必要度の高い入所者が対象となります。

現在、当院の介護療養病床も治療が必要な方や、認知症の度合いが高く自宅療養に支障がある方も多く、介護医療院で言う入所者像と大きくは変わりません。よって、転換時点で既にご入所の方々に改めて転棟・転院等、ご負担をおかけするようなことは無いものと考えています。

もちろん療養環境等設備面で手当てが必要な部分もありますが、国としても我々が移行しやすい要件を設定しており、計画的にスムーズな移行を進めて参ります。また、介護医療院は保険制度上の扱いは「病院」ではなく「施設」となりますが、人員配置も従来どおりを想定しておりますので、患者様へのケアに関しても変わらぬ手厚い対応ができるものと考えております。

今後、具体的な転換手続きについては県との調整や各種段取りもございしますが、それらの進捗も含めて必要に応じ、ご家族様宛に情報をお知らせしていく所存です。

水城病院を中心とした悠水会はこれからも地域の皆様に良質な医療・介護を提供すべく努力してまいります。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

「QOL向上の取り組みについて」

リハビリ科 理学療法士 主任 小嶋 珠美

当院は、医療療養病棟と介護療養型医療施設に分かれており、ほとんどの患者様が長期入院をされています。中でも、医療療養病棟は、病棟でのレクリエーションが少なく、比較的若く精神レベルの高い患者様も長期入院を強いられています。長期入院によりQOL(Quality of life:生活の質)の低下



や季節感を感じにくくなられる患者様もいらつしやるため、6年前より集団でのレクリエーション「でてこい会」を始めました。会の名前は、患者様から募集した中から、みんなでて来て集まろう!という思いも込めて「でてこい会」に決めました。内容としては、屋外散歩、創作活動、調理活動、回想法、夏祭り、運動会、ボーリング大会、カラオケ大会、書初め等様々な取り組みを行ってきました。最近では、回数も年に3〜4回と少なくなりましたが、節分・夏祭り・運動会・カラオケ大会・調理活動をリハビリスタッフにて開催しています。集団でのレクリエーションは季節感を感じることはもちろん、1対1でのリハビリの時には見られない姿や、能力が発揮され、リハビリスタッフも驚かされることがあります。

意識を持たず遊びながら楽しむことで身体的効果や、意欲も高める効果が得られています。カラオケ大会では、エントリーされた患者様は前に出て歌い、それ以外の患者様は審査員(投票にて)として全員が参加できるようにしています。歌を選び、練習し、本番で緊張しながら歌い、審査を受けるようなことは、普段なかなかありませんし、審査員側の患者様も懐かしい歌を口づさんだり、涙ぐまれる姿もみられます。レクリエーションは、私たち人間が心豊かに充実した生活を送る為に欠かせないものです。レクリエーションの効果として、身体機能の維持・向上、脳の活性化、コミュニケーションの促進があります。平坦になりがちな日常生活の中で「非日常」なレクリエーションの時間を持つことにより、日々の生活に刺激を与え心を明るくする効果もあります。でてこい会を開始した当初、レクリエーションをすることによって患者様にどのような変化があるかを評価させていただいた結果、ADLには影響はありませんでしたが、QOLと意欲に関してはほとんどの患者様により変化がみられました。



これからも、患者様も職員も楽しめる「でてこい会」の取り組みを継続していきたいと思えます。



応対接遇への取り組み

応対接遇委員会 西木 由美子



超高齢化社会へと突入した日本ですが、高齢者の方が年々増加していると共に介護サービスを提供している施設も同じように増えています。介護施設は利用者様やご家族様に「選ばれる」立場であるため、様々な努力をしていかなくはなりません。その中でも職員の接遇マナーの向上は大きなウエイトを占める重

要な要素です。そもそも接遇やマナーは、飲食やサービス業で知られている言葉でしたが、最近では病院や介護現場での研修としても取り組むことが多くなりました。温かく、優しく、いたわる気持ちや思いやり、愛情を持って利用者様、ご家族様に接する事が「選ばれる」ための一つの大きな要素ともなっています。

私たちが接遇を学ぶ際に、身だしなみという言葉が頻繁に出てきますが、これらは第一印象に大きく影響します。第一印象にはメラビアンの法則というものがあり、初めて会った人の印象を決める要素として、「視覚的な要素55%」「聴覚的な要素38%」「話の内容が7%」の割合が占めているという考え方です。しかも

初対面の人の第一印象はたったの3秒から5秒で決まると言われています。ですから、話の内容よりも身だしなみや顔の表情、目線などの「視覚情報」と声のトーンなど「聴覚情報」が大切になります。また人と話すときに欠かせないのが会話であり、言葉の使い方です。ただ単に丁寧語、敬語を使うだけでなく、抑揚（イントネーション）も大切になります。言葉の抑揚はその土地柄によってまちまちであり、介護の現場において

すべて標準語で対応する必要はないと思います。温かみ、親しみ、優しさ、いたわる気持ち、思いやりなどを受け止めてもらうためには、その土地の方言による抑揚が高齢者には通じやすいものです。

水城病院の接遇の取り組みは平成8年から始まりました。当初に比べると明らかに接遇力は向上していますが、私たちが応対接遇委員会が今一番望んでいることは接遇について職員間でお互いに注意し合える環境を作っていくことです。

接遇は毎年部門計画でも取り組んでいます。これからも職員一人一人がますます接遇技術を磨いて地域で「選ばれる施設」を目指します。





行事紹介 サービス付き高齢者向け住宅 はるか～悠～

はるか～悠～では、季節ごとに様々な行事を開催し、ご入居者様に楽しんでいただいています。
今回は春のお出かけ「お花見」を紹介させていただきます。



毎年恒例のお花見は、ご入居者様に参加希望を募り、近隣のお花見場所をバスで巡り、お昼ご飯を都府楼跡で召し上がっていただいています。



楽しい時間に思わず笑みがこぼれます



お花見弁当に舌鼓♪自然に箸が進みます

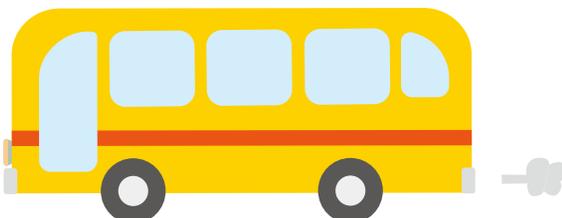


参加者みんなで記念撮影、はいチーズ！

外出については、上記以外にも買物ツアー（5月）秋のバスハイク（10月）等もおこなっています。これからもご入居者様の生活の充実に努めてまいりたいと思います。

今年はお天気に恵まれ、
また満開の桜の下でのお花見と、
素晴らしいものになりました。

短い時間ではありましたが
それぞれ思い思いに
楽しませていました。



16年間お世話になりました。

訪問看護ステーション・作業療法士

安村 妙

当院に入職してから、気づいたら16年の歳月が経っていました。40代にリハビリの専門学校で学び、院内3年、その後訪問看護ステーションにおいて在宅・地域リハビリテーションに関わることができたことは、大変幸運であったと思います。院内・在宅にて多くの利用者様、ご家族様と出会い、日々新しい学びの連続でした。思い出を挙げればきりがないですが、ある90代の方は、もともお好きだったスケッチという作業を通じて戸外にまた出るようになり、体力も回復されました。自室のトイレ増設の設計を提案させていただいたり、80代に片麻痺になり、左手で習字を練習され、見事なあいだみつをの詩を書いてくださった方、自伝の語りを聞き取って冊子にまとめたり、寝たきりなのに将棋だけははりきって起きて来られる方。作業療法の醍醐味を感じさせていただきました。そうした作業をしなくても、皆様から人生の節々を伺う時間はとても貴重なものでした。生活小道具を作らせていただいたこともありま

水城祭の様子



4病棟

太鼓とフラダンスを披露しました。

患者様ご家族様にも太鼓を叩いて頂き、とても盛り上がりました。



5病棟

太鼓では皆様、涙されアンコールの嵐でした。



6病棟

4月15日 水城祭を行いました。職員の出し物で「ダンシング・ヒーロー」を踊り、みなさんと楽しく時間を共有することが出来ました。

す。役立ったかは不明ですが、十分な働きができたとはとても思えません。大きな事故なく終わられることは何よりです。これまでの皆様のご指導・ご鞭撻に心より感謝いたします。

この間医療・介護を取り巻く状況も随分変わってきました。当初は介護保険がスタートし、リハビリも追

い風でしたが、進む高齢化に財源の限界が指摘され、制限が増え、利用者様に不自由をおかけすることも増えたように思います。リハ職としては、リハビリの成果を十分アピールできていない結果か、と反省すべき点も感じます。しかしリハビリのない医療・介護は今後も考えられないと思います。後続の皆様の活躍を願います。

最後に余談ですが、先日世界中から女性が集まり、地方で暮らす女性の問題について話し合う会議に参加する機会をいただきました。特に

発展途上国では、保健衛生や健康面でも女性は様々な問題を抱えています。例えば病気になるっても女の子だとかなかなか病院に連れて行かない、水汲み等の重労働で背骨が極端に歪む、いまだに身体に有害な慣習が行われている、等々。しかしそうした難題に、また女性達がパワフルに取り組む姿が印象的でした。当病院のスタッフも女性が多いですが、これからもいきいきと、地域の課題に取り組んでいる自負を持って水城病院と在宅サービスを盛り立てていかれることをお祈りしております。

医療法人 悠水会

理 念

地域の皆様に良質な医療・介護を通じ、「安心」と「満足ある人生」が感じられるよう貢献します。

基本方針

1. 私たちは、地域の皆さまにトータルサポートが出来るよう積極的な貢献に励みます。
2. 私たちは、常に向上心を持ち、良質な医療介護を提供出来るよう努力し続けます。
3. 私たちは、地域におけるニーズを敏感に感じとる努力を怠らないようにします。
4. 私たちは、常に謙虚で、相手の立場に立ち、個人の価値を尊重する行動に努めます。
5. 私たちは、ここに集う人々が安らかな心でおおらかに生き、満足ある人生が感じられるよう貢献します。
6. 私たちは、仕事に誇りを持ち、皆様に喜び(満足)を提供します。

編集後記

一日一日があつという間に過ぎ、2018年も残り半年となりました。そんな中、ロシアW杯も大盛況のうちに閉会し、このような明るい話題が増えればこんなに幸せな事はないと感じています。自分自身、日々の積み重ねをより一層大切に過ごし、次のステップのために出来ることを一歩一歩着実に取り組んで参ります。

広報委員 垂水 翔



水城病院

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目10-1
TEL 092(922)2050
FAX 092(921)2099

みずきケアプランサービス

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目9-13
TEL 092(922)2051
FAX 092(928)5467

みずき訪問看護ステーション

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目9-13
TEL 092(922)2050
FAX 092(922)2962

みずきヘルパーステーション

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目9-13
TEL 092(922)2050
FAX 092(922)2962

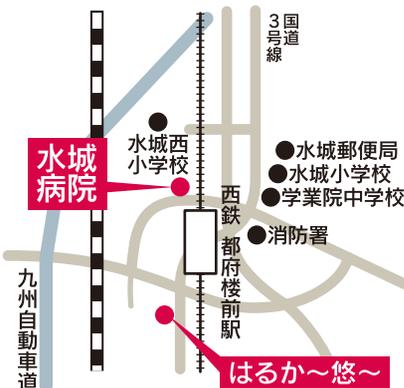
みずき指定通所リハビリセンター

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目10-1
TEL 092(922)2050
FAX 092(922)2118

みずきデイサービスセンター

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目19-3
TEL 092(928)7005
FAX 092(928)7029

サービス付き高齢者向け住宅
はるか～悠～
はるかヘルパーステーション
〒818-0104
太宰府市通古賀4丁目7-10
TEL 092(918)4722
FAX 092(918)4733



URL <http://www.mizuki.or.jp>

住所 〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目10-1

TEL 092(922)2050

FAX 092(921)2099

診察受付時間

午前診療 9:00～12:00(月曜日～土曜日)
午後診療 13:30～17:00(月曜日～金曜日)

休診日

日曜日、祝日、8月13日～15日、
12月30日午後、12月31日、1月1日～3日

